

1面のコラム「<sup>しゃめん</sup>斜面」を読もう

斜面

2024.5.24

臭くて、群れて、知らぬ間に家に入り込んで  
いる。多くの人が持  
つカメムシの印象は、  
こんなところではない

か。さらに農作物の汁を吸って品  
質を落とし、収穫量を減らす。人  
を刺す仲間もいて、かゆみや激痛  
に襲われることがある◆本紙建設  
標に「一番迷惑で嫌いな虫」「半  
径1センチ以内に近づくことすら嫌  
」といった投書が載ったこともある  
不快な厄介者だ。それを採集し、  
凶鑑にした小学生がいる。10年ほ  
ど前、岩手県葛巻町の山あいにあ  
る江刈小学校の全校児童29人が取  
り組んだ◆小学校では毎年冬から  
春にかけて校舎内にたくさんのカ  
メムシが入り込み、困っていたと  
いう。ある日の朝、子どもたちと  
床掃除をしていた校長先生が、ち  
り取りの中いろいろな種類のカ  
メムシがいるのを見て「ちゃんと  
した名前も知らない。みんなで調  
べよう」と呼びかけた◆最初は戸  
惑っていた児童もカメムシを捕ま  
えて学校に持ち込むようになり、  
先生と一緒に名前を調べたり気が  
ついたことを記録したり。その数  
は30種以上となり、研究者との交  
流も生まれる。子どもたちの間で  
「厄介者」は、いつしか「宝物」  
になった◆信州を含め各地でカメ  
ムシが大量発生する恐れが出てい  
る。農作物被害を防ぐ対策は怠れ  
ない。同時に、厄介者としてただ  
取り除いてしまうのではなく、相  
手を知ること大切ではないか。  
生息が分かれば、よりよい対処方  
法が見えてくる。そんなことも江  
刈小の子どもたちは教えている。

斜面

2024.5.28

家の玄関や窓が木枠の  
引き戸だった子ども  
ころ、雨には結構しつ  
かりと備えていた。不  
具合を直し、雨戸を開

めて、隙間に当てる布を用意し、  
買い出しに走る。台風が近づき学  
校が早めに終わるような時は、一  
目散に帰って手伝った◆半世紀前  
の記憶だ。家族が一つになって忙  
しく動く姿は子どもの気持ちを高  
ぶらせた。アルミや樹脂を使うド  
アや窓が多くなった今、そんな様  
子は見かけない。高齢者世帯や単  
身、ひとり親家庭も増え、かつて  
の家族総出の備えは消えつつある  
のだろう◆今年も雨の季節を迎え  
た。この日曜にフィリピンで台風  
1号が発生し北上中だ。発生が5  
月にずれ込むのは4年ぶり、1  
951年の統計開始以来7番目に  
遅い。一方、日本列島付近には低  
気圧を伴う前線があり、台風から  
暖かく湿った空気が流れ込んで活  
動が活発になっている◆心配なの  
は、数時間にわたり局地的な豪雨  
をもたらす線状降水帯の発生だ。  
気象庁は、その可能性を12〜6時  
間前に府県単位で伝える「半日前  
予測」の運用を、予定を早めて始  
めた。スーパーコンピューターの  
性能向上で対象を絞り込めるよう  
になった◆身近に危機が迫ってい  
るか把握するためには、細かく正  
確な情報提供が役に立つ。ただ、  
命を守る行動につながるなければ  
意味はない。国で見直しが進む防  
災気象情報を、住民の意識にどう  
働きかけていくか。家族総出の備  
えに代わる地域の防災力が求めら  
れる。足元を確かめておきたい。

しゃめん  
1面のコラム「**斜面**」を読もう

ひらがなを漢字になおして書きましょう。

**斜面**

2024. 5. 28

いえのげんかんや  
まどがきわくのひ  
きどだった**子ども**  
のころ、あめには

けっこうしっかりとそなえていた。ふぐあいをなおし、あまどをしめて、すきまにあてるぬのをよいし、かいだしにはしる。たいふうがちかづきがっこうがはやめにおわるようなときは、いちもくさんにかえってつだった◆はんせいきまえのきおくだ。かぞくがひとつになつていそがしくうごくすがたは**子ども**のきもちをたかぶらせた。アルミやじゆしをつかうドアやまどがおおくなつたいま、そんなようすはみかけない。このうれいしゃせたいやたんしん、**ひとり**おやかていもふえ、かつてのかぞくそうでのそなえはきえつつあるのだろう◆ことしもあめのきせつをむかえた。このにちようにフィリピンでたいふう1ごうがはっせいしほくじょうちゅうだ。はっせい

ていきあつをともなうぜんせんがあり、たいふうからあたたかくしめったくうきがながれこんでかつどうがかっぱつになつていゝ◆しんぱいなのは、すうじかんにわたりきよくちてきなごうをもたらすせんじょうこうすいたいのはっせいだ。きしょうちょうは、そのかのうせいを12く6じかんまにふけんたんいでつたえ「はんちちまえよそく」のうんようを、よていをはやめてはじめた。スーパコンピューターのせいこのうじょうでたいしょうをしほりこめるようになった◆みぢかにききがせまつているかはあくするためには、こまかくせいかなじょうほうでいきょうがやくにたつ。ただ、いのちをまもるこのうにつながらなければいみはない。くにでみなおしがすすむほうさいきしうじょうほうを、じゆうみんのいしきにどうはたらきかけていくか。かぞくそうでのそなえにかわるちいきのほうさいりよくがもとめられる。あしもとをたしかめておきたい。



### コラム「斜面」を読んで考えを深めよう

年 組 番 名前

## 斜面

2024.5.24

臭くて、群れて、知らぬ間に家に入り込んで  
いる。多くの人が持  
つカメムシの印象は、  
こんなところではない

か。さらに農作物の汁を吸って品  
質を落とし、収穫量を減らす。人  
を刺す仲間もいて、かゆみや激痛  
に襲われることがある◆本紙建設  
標に「一番迷惑で嫌いな虫」「半  
径1センチ以内に近づくことすら嫌  
」といった投書が載ったこともある  
不快な厄介者だ。それを採集し、  
図鑑にした小学生がいる。10年ほ  
ど前、岩手県葛巻町の山あいにあ  
る江刈小学校の全校児童29人が取  
り組んだ◆小学校では毎年冬から  
春にかけて校舎内にたくさんのカ  
メムシが入り込み、困っていたと  
いう。ある日の朝、子どもたちと  
床掃除をしていた校長先生が、ち  
り取りの中にいろいろな種類のカ  
メムシがいるのを見て「ちゃんと  
した名前も知らない。みんなで調  
べよう」と呼びかけた◆最初は戸  
惑っていた児童もカメムシを捕ま  
えて学校に持ち込むようになり、  
先生と一緒に名前を調べたり気が  
ついたことを記録したり。その数  
は30種以上となり、研究者との交  
流も生まれる。子どもたちの間で  
「厄介者」は、いつしか「宝物」  
になった◆信州を含め各地でカメ  
ムシが大量発生する恐れが出てい  
る。農作物被害を防ぐ対策は怠れ  
ない。同時に、厄介者としてただ  
取り除いてしまうのではなく、相  
手を知ること大切ではないか。  
生息が分かれば、よりよい対処方  
法が見えてくる。そんなことも江  
刈小の子どもたちは教えている。

① コラム「斜面」を読んで、筆者が言いた  
いことを簡潔に書きましよう。

② 【意見提示】 「斜面」の内容に対する  
あなたの意見を書きましよう。

③ 【展開】 あなたの意見の根拠を三つ書  
きましよう。

( )

( )

( )

伝えたい順番

